

2014年 第8問

 数理
石井K

8 次の各問いに答えよ。

- (1) 数字1が書かれた玉 a 個 ($a \geq 1$) と、数字2が書かれた玉1個がある。これら $a+1$ 個の玉を母集団として、玉に書かれている数字を変数とする。このとき、この母集団から復元抽出によって大きさ3の無作為標本を抽出し、その玉の数字を取り出した順に X_1, X_2, X_3 とする。標本平均 $\bar{X} = \frac{X_1 + X_2 + X_3}{3}$ の平均 $E(\bar{X})$ が $\frac{3}{2}$ であるとき、 \bar{X} の確率分布とその分散 $V(\bar{X})$ を求めよ。ただし、復元抽出とは、母集団の中から標本を抽出するのに、毎回もとに戻してから次のものを1個取り出す抽出法である。
- (2) ある企業の入社試験は採用枠300名のところ500名の応募があった。試験の結果は500点満点の試験に対し、平均点245点、標準偏差50点であった。得点の分布が正規分布であるとみなされるとき、合格最低点はおおよそ何点であるか。小数点以下を切り上げて答えよ。ただし、確率変数 Z が標準正規分布に従うとき、 $P(Z > 0.25) = 0.4$, $P(Z > 0.5) = 0.3$, $P(Z > 0.54) = 0.2$ とする。

$$(1) \quad 1 \cdot \frac{a}{a+1} + 2 \cdot \frac{1}{a+1} = \frac{3}{2}$$

$$\therefore a+2 = \frac{3}{2}(a+1) \quad \therefore \frac{a}{2} = \frac{1}{2} \quad \therefore a=1$$

$$\therefore 3 \text{ 個とも } 1 \text{ である確率は } \left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{1}{8}$$

$$2 \text{ 個 } 1, 1 \text{ 個 } 2 \text{ 〃 } \quad \left(\frac{1}{2}\right)^2 \cdot \left(\frac{1}{2}\right) \cdot {}_3C_1 = \frac{3}{8}$$

$$1 \text{ 個 } 1, 2 \text{ 個 } 2 \text{ 〃 } \quad \left(\frac{1}{2}\right) \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^2 \cdot {}_3C_1 = \frac{3}{8}$$

$$3 \text{ 個とも } 2 \text{ 〃 } \quad \left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{1}{8}$$

\bar{X}	1	$\frac{4}{3}$	$\frac{5}{3}$	2	合計
P	$\frac{1}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{1}{8}$	1

$$\therefore V(\bar{X}) = E(\bar{X}^2) - \{E(\bar{X})\}^2$$

$$= 1^2 \cdot \frac{1}{8} + \left(\frac{4}{3}\right)^2 \cdot \frac{3}{8} + \left(\frac{5}{3}\right)^2 \cdot \frac{3}{8} + 2^2 \cdot \frac{1}{8} - \left\{\frac{3}{2}\right\}^2$$

$$= \frac{1}{12} //$$

(2) 500名の得点を確率変数 X とおくと。

X は正規分布 $N(245, 50^2)$ に従うので

$Z = \frac{X-245}{50}$ は $N(0, 1)$ に従う。

$$\therefore P(X \geq n) = P\left(Z \geq \frac{n-245}{50}\right) = 0.6$$

$$P(X \geq 245) = 0.5 \text{ より } n < 245 \quad \therefore P\left(Z > \frac{245-n}{50}\right) = 0.4 \text{ とすればよい}$$

$$P(Z > 0.25) = 0.4 \text{ より } \frac{245-n}{50} = 0.25 \quad 245-n = \frac{25}{2} \quad \therefore n = 232.5$$

∴ およそ、233点 //